

富中だより



令和3年度合い言葉

元氣なあいさつ笑顔が一番、仲間を認め合い、地域と共に創る魅力のある学校

(学校便りのこの欄は、生徒の皆さんに読んで欲しい内容が中心です)

諦める 目的と手段のはなし

校長 水野 秀哲

二学期がはじまって1ヶ月。9月が終わります。1年の折り返しを迎えることとなります。残り半分をどう過ごせば良いのか、ちょっと真剣に考えてみましょう。

令和3年度、4月からの半年間は、コロナ禍にあって、様々な活動が制限されました。予定されていた学校行事も例年のようにできないこともあり、「諦め」の感情が高まってしまった人も多かったのではないのでしょうか。

「諦める」=日本語で「諦める」は放棄、断念、ギブアップなど、マイナスイメージで使われることが多いと思いますが、漢和辞典で「諦」を調べると必ずしも悪い意味だけではありません。むしろ、「ものの真実をよく見る」とあり、「明らか・明らかにする」に近いものがあります。

私たちが「苦しい」「つらい」「嫌だ」「つまらない」など、マイナスの感情を抱くのは、ことごとく自分の思い(都合)通りにならないことです。まずは、自分の思いについて「明らかにする」のが大切です。すると、思いの多くは、「目的」ではなく「手段」であることがわかってきます。

たとえば、「お金が欲しくてたまらないが、金儲け出来なくてイライラしている」としましょう。お金を儲けたいという思いは、実は「あれが欲しいから」「これがしたいから」「幸せになりたいから」などの「欲」からきています。つまり、欲を満たすための「手段」としてお金がほしいのです。

「学校行事がなくなった」行事をやるのが「目的」ではないのです。行事をとおして身に付けてほしい力をつけることが「目的」なのです。

このように目的をはっきりさせると、手段としての思い(行動)がより明確になってきます。

「テストでいい点をとりたい」という思いも、実はテストが「自分の力を確かめるため」「わ

からないことをはっきりとさせるため」という目的があってこそです。「他人より点数がとれると優越感に浸れる」「親に褒められる」という目的とは質が違うことに気がきます。

コロナ禍でいろいろなことに制限がかかっているのは事実です。いつもなら、抵抗なくできることができない。けれども目的が明らかならば、手段を変えて達成できるかもしれない。そう発想を転換することが「諦める」の本意なのだと思います。

これから先、不可抗力(人のちからではどうにもならないこと)によって物事を諦めざるを得ないときが必ずあります。そのときに、何の考えもなく中途半端に断念するのか、状況を明らかにし展望をもって断念するのか、同じ諦めるでも大きく異なります。

残り半年、目的と手段を明確にしてみましょう。勉強することは目的ではありません。手段です。

《主な教育活動》

詳細は「〇月の学校経営」や学校ホームページ (<https://tomiharajh.kushi-cho.ed.jp/>) でご確認ください。

注: SC...スクールカウンセラー、SSW...スクールソーシャルワーカー

【10月】

- 4 (月) 富中祭活動(～21日) ALT 衣替完了
- 6 (水) SSW
- 8 (金) 学校経営指導訪問 ALT 英語検定
- 9 (土) 全道駅伝大会(陸上:新得)～10日
北海道カブス決勝(サッカー:岩見沢)～10日
- 11 (月) 後期学級組織決定 ALT
- 12 (火) 生徒会活動日
- 14 (木) 学力テストB(3年) ALT SC
- 20 (水) SC
- 21 (木) ALT
- 22 (金) 富中祭
- 25 (月) 全校朝会 職員会議 ALT
- 26 (火) 身体測定(3年)
- 27 (水) 身体測定(2年) 英検IBA(1年)
- 28 (木) 身体測定(1年) ALT
- 29 (金) 第3回保護者参観日 QU実施



【緊急事態宣言期間の実施に伴う 行事等の変更】

- ・遠足（1年）
9月28日⇒中止
- ・修学旅行（3年） 延期
9月29日～10月1日⇒3月（入試以降）
- ・宿泊研修（2年） 延期
10月4・5日⇒11月8・9日
- ・後期生徒会役員選挙⇒オンラインによる開催



生徒会書記局 第40回富中祭テーマ 一期一会

～笑顔で心に残る
一生に一度の思い出を～

=主な取組=

〈発表部門〉

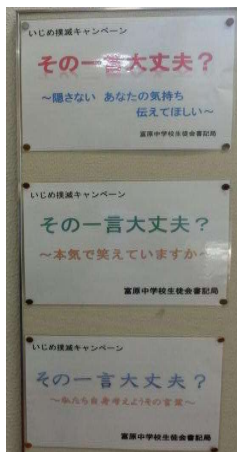
- ・ダンスや演奏等を撮影し、自分たちで編集も行って発表

〈制作部門〉

- ・ちぎり絵やモザイクアート等の作品を制作
※保護者の方にはホームページ等で発表鑑賞していただく予定です。
※富中祭での合唱発表は中止

緊急事態宣言の影響により、取組期間を短縮しています。10月4日から21日までの期間で実施可能な取組を検討しました。

生徒会書記局:いじめ撲滅メッセージ 「その一言大丈夫？」



あなたはこれを聞いて、どう思いましたか。

このメッセージにはこんな意味を込めました。

- ・SNSの世界は相手の顔が見えず、一言一言に気持ちを込めてほしい
- ・現実の世界でも、何気ない一言で相手を傷つけていないか
- ・よく考えて発言し、よりよい富原中学校をしていきたい
[書記局からの呼びかけ(抜粋)]

コロナ感染予防対策 ～タブレットを用いて授業を配信～

全道大会出場の部活動の生徒は緊急事態宣言下においては大会後、3日間の自宅待機（出席停止）となっていました。この間、タブレットを用いて一部の教科の授業を配信する取組を実施しています。



声が届き、板書全体が映るようにタブレットを設置して授業を配信しました。

【感想】

- ・黒板の文字は見えづらいところもあったけれど、音声ははっきり聞こえた。
- ・やはり学校で授業を受ける方がいいけれど、登校できないときはこの方法でもいいのではないかと考えた。
- ・黒板だけではなく、みんなが授業を受けている様子も分かったり、話し合ったりできればもっとよかった。

富中生の活躍～部活動等の実績～

※（ ）は学年、8月28日から9月26日までの大会実績

■吹奏楽部 北海道吹奏楽コンクール 8/27
中学校B編成の部 銀賞

■サッカー部 後期リーグ 9/4～25

- ・対青陵 3-20
- ・対鳥取 7-30
- ・対鳥取西 3-10
- ・対景雲 3-10
- ・対SC2nd 6-00 **優勝（全道大会出場）**

■陸上競技部

・釧路新人陸上競技大会 8/28、29

入賞者

〈男子〉

2年100m	2位	(2)	12秒07
	6位	(2)	12秒47
200m	1位	(2)	25秒03
400m	2位	(2)	58秒52
800m	1位	(2)	2分17秒90
	2位	(2)	2分18秒00
	6位	(2)	2分26秒06
4×100mR	2位	(2)	(2)
		(2)	(2)
			49秒24

〈女子〉

100mH	7位	(2)	18秒13
走り幅跳	6位	(2)	4m29
4×100mR	7位	(2)	(1)
		(2)	(2)
			57秒08

・北海道ジュニア選手権大会(旭川) 9/5

入賞者

男子300M	3位	(3)	37秒33
1000M	4位	(3)	2分43秒35
女子300M	6位	(3)	46秒32

■女子バスケット部

北海道U-15バスケットホール選手権大会(江別市)9/19、20

1回戦	対札幌星置	59-57○
準決勝	対江別第二	46-45○
決勝	対帯広第一	46-55●

準優勝